



シラバス参照

タイトル「2020年度シラバスー1年生(N/E/S)」、フォルダ「共通科目 (N/E/S) -社会に生きる」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

科目名	ネットワーク社会																				
担当教員名	深澤 進																				
ナンバリング	NEd1022																				
学科	共通科目 (N/E/S) -社会に生きる																				
学年	1年	クラス	1Aクラス																		
開講期	前期	必修・選択の別																			
授業形態	講義	単位数																			
資格関係																					
実務経験の有無																					
実務経験および科目との関連性																					
ねらい	①科目の性格 現代社会では情報に接することが増え、SNSの普及で情報を発信する機会も多くなっていることをふまえ、情報の基本的な性格を解説し、その適切な活用方法を検討する。 ②科目の概要 ・情報の基礎（情報の概念、特徴等） ・情報システムのしくみ（コンピュータ・ネットワーク等） ・セキュリティ、個人情報保護、情報倫理を中心に講義する。 ③授業の方法 講義形式で行う。授業参加者は毎回リアクションペーパーを提出する。 ④到達目標 (1)情報とはどのようなものを理解すること (2)コンピュータ・ネットワークはどのような仕組みで成り立っているのかを理解すること (3)現代社会において、情報と適切に接することができるようになること 以上三点を目標とする。 ⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 この科目は主にディプロマ・ポリシー⑥-3「グローバルマインド」および⑥-4「未来を創造する力」の養成に関連する。																				
内容	この授業は講義を基本に進める。受講者は内容に対するリアクションペーパーを授業ごとに提出する。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス ―ネットワーク社会とは―</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>情報とは何か</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>グローバル・ヴィレッジの概念</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>地域と情報</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>情報化社会とは何か</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>情報とメディア</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ネットワーク社会における情報</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>データベースによる情報管理</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス ―ネットワーク社会とは―	2	情報とは何か	3	グローバル・ヴィレッジの概念	4	地域と情報	5	情報化社会とは何か	6	情報とメディア	7	ネットワーク社会における情報	8	データベースによる情報管理
回	内容																				
1	ガイダンス ―ネットワーク社会とは―																				
2	情報とは何か																				
3	グローバル・ヴィレッジの概念																				
4	地域と情報																				
5	情報化社会とは何か																				
6	情報とメディア																				
7	ネットワーク社会における情報																				
8	データベースによる情報管理																				

	9 現代生活とネットワーク社会
	10 コンピュータ・ネットワークの特質
	11 「フェイクニュース」拡散の仕組み
	12 ネットワーク社会と集団心理
	13 情報倫理
	14 ネットワーク社会におけるふるまい方
	15 まとめ
各授業回における授業外学習の内容・所要時間	【事前準備】 授業内容のテーマについて興味を持った点を、事前に調べておくとよい。(各授業に対して30分) 【事後学修】 その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。(各授業に対して30分)
評価方法および評価の基準	授業への参加度50%、筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。 授業への参加度は、授業内での発言や、提出されたリアクションペーパーの内容によって評価する。 リアクションペーパーは評価を記入後返却する。
教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)	【教科書】 使用しない 【推薦書】 駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著 『情報とネットワーク社会』 オーム社 【参考図書】 教室で紹介する
学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など	授業の進め方や評価方法の詳細は初回の授業時に説明する。

戻る

<p>【基本】 「現代生活とネットワーク社会」の授業内容について、事前に調べておくとよい。(各授業に対して30分)</p> <p>【事後学修】 その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。(各授業に対して30分)</p>	<p>【事前準備】 授業内容のテーマについて興味を持った点を、事前に調べておくとよい。(各授業に対して30分) 【事後学修】 その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。(各授業に対して30分)</p>
--	---

内容	回数
「現代生活とネットワーク社会」の授業内容について、事前に調べておくとよい。(各授業に対して30分)	1
その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。(各授業に対して30分)	2
授業内での発言や、提出されたリアクションペーパーの内容によって評価する。	3
リアクションペーパーは評価を記入後返却する。	4
授業の進め方や評価方法の詳細は初回の授業時に説明する。	5
授業の進め方や評価方法の詳細は初回の授業時に説明する。	6
授業の進め方や評価方法の詳細は初回の授業時に説明する。	7
授業の進め方や評価方法の詳細は初回の授業時に説明する。	8